


近世の対外政策	()組	氏
	()番	名

一郎君たちのクラスでは、身近な地域の歴史から近世の歴史を振り返ることになり、一郎君は、西都市にゆかりのある「伊東マンショ」を手がかりに近世の対外政策をまとめていこうと考え、次のようなレポートを作成していきました。

【資料1 一郎君の作成したレポート（前半）】

<p style="text-align: center;">伊東マンショに関する主なできごと [→自分の考え]</p> <p>1549年 (①) がキリスト教を日本に伝える [→この人物の伝導によりキリスト教が各地に広まった]</p> <p>1569年 日向国の都於郡<small>（西都市）</small>に生まれる</p> <p>1577年 島津氏との戦いに敗れ豊後<small>（大分）</small>に逃れる [→マンショがキリスト教と関わるきっかけとなった]</p> <p>1580年 有馬<small>（長崎県）</small>のセミナリオ<small>（神学校）</small>に入校する</p> <p>1582年 天正遣欧少年使節として長崎からヨーロッパへ出発 ※マンショを含む4人の少年は、②3人のキリシタン大名の名代<small>（みょうだい）</small>であった [→キリスト教を通して、外国と日本との橋渡しをしたいと考えていたのではないか]</p> <p>1585年 ローマ教皇グレゴリオ13世<small>（えっけん）</small>に謁見<small>（*謁見…目上の人に会うこと）</small>する</p> <p>1590年 日本へ戻ってくる<small>（長崎に帰着）</small></p> <p>1591年 京都の聚楽第<small>（じゅらくてい）</small>で、豊臣秀吉に謁見する ※ただし、③キリシタンではなく「インド副王の使節の一員」として謁見している [→帰国前の出来事「（あ）こと」により（い）ではないか]</p> <p>1611年 飢肥<small>（日南市）</small>に帰郷する</p> <p>1612年 長崎の教会で亡くなる<small>（43歳）</small> （「伊東マンショその生涯」鉾脈社より作成）</p>	 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【都於郡城跡にある銅像】</p>
---	---

(1) 資料1の(①)に適する人物名を答えなさい。

人物名

(2) 資料1の下線部②「3人のキリシタン大名」としてあてはまらない人物を、右の資料2も参考にしながら、下のア～エから1人選びなさい。※ア～エの()内は各大名の領地

- ア 大友宗麟（大分県）
- イ 有馬晴信（長崎県）
- ウ 大村純忠（長崎県）
- エ 上杉謙信（新潟県）

記号

【資料2 (1)の人物の伝導路】



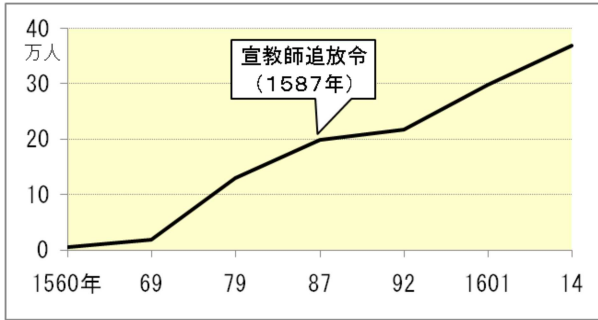
(3) 資料1の下線部③に対する一郎君の考えとして、(あ)に最も適する出来事を下のア～エから1つ選び、下線部③のような行動をとった理由を(い)に書きなさい。

(あ)	(い)
-----	-----

- ア 織田信長が本能寺の変で殺された(1582年)
- イ スペインの商船が長崎県の平戸に来航した(1584年)
- ウ 豊臣秀吉が九州を平定した(1587年)
- エ 豊臣秀吉が宣教師追放令を出した(1587年)

【資料3 一郎君の作成したレポート（後半）】

【資料3-① キリスト教信者数の推移】



(「日本キリスト教史」五野井隆史より作成)

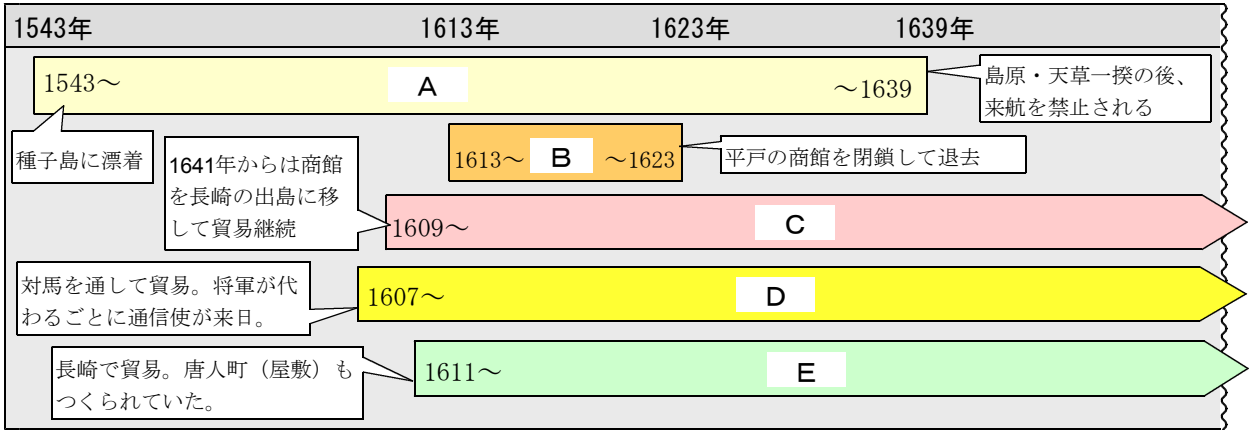
疑問に思ったこと

宣教師追放令を出した後も、なぜ信者の数が増え続けているのだろうか？

【仮説】

資料4から、
のではないかと考えられる。

【資料3-② 外国との貿易の状況】



(4) 上の資料3中のに一郎君がどのような仮説を書いたのかを、下の資料4から読み取れる内容をふまえて書きなさい。

【資料4 宣教師追放令】

- 一 日本は神々の国であるため、キリスト教の国から宣教師たちが邪教(キリスト教)の教えを説くために日本に来ることは、大変悪いことである。
- 一 彼らは日本の領国に来て日本人をキリスト教に改宗させ、神々や仏たちの寺院を破壊しており、このようなことはいまだかつて見聞したことのないことである…
- 一 …これは悪しきことなので、余は(秀吉は)宣教師たちが日本にいるべきでないとする。このため、今日から20日以内に自国に戻るべきである…
- 一 ポルトガルの商船は、貿易のために来ているのであるから、宣教師追放とはまったく別のことであり、今後も取引は支障なく行うことができる。(以下省略)

(「日本キリスト教史」五野井隆史より作成 ※訳文を要約)

(5) 上の資料3-②のA~Eには、下の語群のいずれかの国があてはまります。A~Eにあてはまる国を、それぞれ答えなさい。

語群 [イギリス オランダ ポルトガル 朝鮮 明]

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---